

北海道シーニックバイウエイ制度の理念について

これまでの議論を踏まえ、本制度の理念について以下の通り整理を行った。

<ビジョン～「北海道シーニックバイウエイ制度がめざす北海道の将来像」>

美しい沿道環境形成や北海道の地域資源を見出し、保全・活用することにより、そこに住む人々にとって誇れる地域環境を形成するとともに、訪れる人々にとって安全・快適な観光環境の創造を図り、北海道の豊かな地域資源の中で、地域住民と旅行者、地域産業と観光産業が共生できるような、新しく美しい北海道を実現する。

<ゴール～「美しく個性的な居心地の良い北海道づくりをめざして」>

沿道景観整備などによる美しいツーリング環境の創造

沿道景観整備を積極的に進めるとともに、交通安全対策、ユニバーサルデザインの導入、歩行者や自転車利用者などにも配慮した、誰もが安全・快適に利用できる美しいツーリング環境づくりをめざす。

地域資源の保全と活用による個性的で居心地の良い地域環境の創造

四季折々の美しい景観や自然・文化・歴史・レクリエーション資源など、多様な地域資源を保全・活用することにより、個性的で魅力的、居心地が良く癒される地域環境づくりをめざす。

<プログラム推進のための基本方針>

基本方針 1 地域住民主体のダイナミックな運営体制づくり

地域住民の主体的参加による横断的推進体制の構築

地域住民や NPO、民間企業等が運営主体として本プログラムに参加し、相互の連携や関係行政機関、民間等との広範な連携・合意形成により創意工夫にあふれた事業推進を図る。

評価システムによる事業推進支援体制の構築

地域資源や運営主体および事業効果に関して評価を行い、問題点や課題を明確にした上で、的確な対応を講じることができるよう支援を目的とした評価システムを導入する。

基本方針 2 ブランド形成によるコミュニティビジネス創造

プロモーション事業推進によるブランド形成

本プログラムの対外的なプロモーションを積極的に推進し、北海道らしく質の高い観光資源としてのブランド形成を図っていく。

新たな地域ビジネス創造の積極的志向

旅行者のニーズに対応した個性的で質の高いサービスを提供していくため、新たな交流ビジネスや地域ビジネスの創造を積極的に志向し、地域の雇用創出に繋げていく。

基本方針 3 総合的・持続的なプログラムマネジメント

バイウエイ情報ネットワークシステムの構築

ITを活用し、多様な旅行ニーズに対応できるよう、キメの細かい情報を提供できる情報提供システムの構築を図る。またシーニックバイウエイ・プログラムに参加する地

域内外の多様な主体によるコラボレーションを支援する情報共有システムの構築を図る。

支援センター（仮称）構築による持続的サポート体制の構築

シーニックバイウエイ毎の活動団体への技術的支援や関係機関相互の連携などを持続的に推進していくための支援センターを構築し、プログラムマネジメントに必要な持続的なサポート体制を構築する。

図1 北海道シーニックバイウエイ・プログラム推進のための全体イメージ

